○ 農業土木工事施工管理基準の制定について(平成20年5月20日農計第181号農林水産部長通知) 新旧対照表

						(朱書き下線部は改正部分)
改正後				現	行	
農業土木工事施工管理基準			農業	土木工事施工作	管理基準	
目 次 [略]				目 次 [略]]	
農業土木工事施工管理基準 [略]			農業土	二木工事施工管理	基準 [略]	
別表第 1 直接測定による出来形管理 [略]			別表第1	直接測定による出	出来形管理 [略]	
共通工事 ~ 7 排水路工事・河川工事 [略] 管水路工事	8 管力	×路工事	排水路工事・河川工			
管体基礎工(砂基礎等) ~ ジョイントコート [略]		F基礎上(砂基礎) -	等) 〜 ジョイン 	トコート [略]		
工 種 項 目 管理基準値(mm) (参 考) 規格値(mm) 測 定 3	基準	T. 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測定基準
8 管水路 (埋設と対理) 管種等の適用範囲は原則として下記による。 管種等の適用範囲は原則として下記による。 管種等の適用範囲は原則として下記による。 管種等の適用範囲は原則として下記による。 管種等の適用範囲は原則として下記による。 管種等の適用範囲は原則として下記による。 管種等の適用範囲は原則として下記による。 管理の適用を通知を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を	工事	管水路 (地野とう性管) ダクタイル鋳鉄 管 鋼管 強(ヒプラスチック管	JDPA G102 JIS G344 WSP A-10 JIS A535	6(ダクタイル鋳鉄管 7(農業用水用ダクタ 3-1(水輸送用塗覆装 1(農業用プラスチック 0(強化プラスチック	が (イル鋳鉄管) (調管-第1部: 直管) (ク被覆鋼管) (複合管) チック複合管内圧管	メントワインテ゛ィンク゛成形法)

たわみ率	なし	⊕ 3%⊕ 3%	± 5 %± 5 %	施工延長おおむね 50 mにつき 1 箇所の割 合で測定する。 上記未満は 2 箇所測 定する。 測定は定尺管の中央
固	1			部とする。 測定時期は管据付時
め程	I 礫質土	± 4%	± 5%	(接合完了後)、管頂埋 戻時及び埋戻完了時 とする。 なお、「埋戻完了」と は、特に指示がない場
度	П	⊕ 4%	± 5%	合は舗装(表層、上層 路盤、下層路盤)を除 いた埋戻完了時点と する。

シールド工事(一次覆工) ~ シールド工事(二次覆工) 推進工事 [略]

9 畑かん施設工事 ~ 17 ため池改修工事 [略]

別表ア ~ カ [略]

別表第2 撮影記録による出来形管理 [略]

1 共通工事 ∼ 3 農用地造成工事 [略]

	たわみ率			± 3%	± 5%	施工延長おおむね 50
			なし			mにつき1箇所の割
						合で測定する。
		締				上記未満は2箇所測
		71414		± 3%	± 5%	定する。
			I			測定は定尺管の中央
		固				部とする。
						測定時期は管据付時
				± 4%	± 5%	(接合完了後)、管頂埋
		め	I			戻時及び埋戻完了時
			礫質土			とする。
		程				なお、「埋戻完了」と
		化土				は、特に指示がない場
				± 4%	± 5%	合は舗装(表層、上層
		度	П			路盤、下層路盤)を除
						いた埋戻完了時点と
						する。
Ĺ	 下事 / 炒更	<u></u>	> 10=			

シールド工事(一次覆工) ~ シールド工事(二次覆工) 推進工事 [略]

9 畑かん施設工事 ~ 17 ため池改修工事 [略]

別表ア ~ カ [略]

別表第2 撮影記録による出来形管理 [略]

共通工事 ~ 3 農用地造成工事 [略]

	工 種	撮 影 基 準	撮影箇所
4 舗	1.路盤工	施工延長おおむね 50~100mにつき 1 箇 所の割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。	幅、まき出し厚さ、転圧、その他必 要箇所を撮影する。
装工事	2. コンクリート舗装 エ アスファルト舗装 エ	上記と同一。	幅、厚さ、その他必要箇所を撮影する。
道	3. 砂利舗装工	上記と同一。	幅、まき出し厚さ、転圧、その他必 要箇所を撮影する。
路改良工	4. 道路トンネル	巻厚については1スパンにつき1箇所の 割合で撮影する。 その他掘削タイプの変化する毎に1箇所 の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、矢板、 坑口、その他必要箇所を撮影する。
事	5. 道路トンネル (NATM)	掘削はタイプの変化する毎に1箇所、ロックボルトは100mに1箇所、コンクリート吹付は50mに1箇所、巻厚については1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	ボルト、コンクリート吹付、坑口、

5 水路トンネル工事 ~ 6 水路工事 [略]

	工種	撮影基準	撮影箇所
4 農	1.路盤工	施工延長おおむね 50~100mにつき 1 箇 所の割合で撮影する。 上記未満は 2 箇所撮影する。	幅、まき出し厚さ、転圧、その他必 要箇所を撮影する。
道	2. コンクリート舗装 エ アスファルト舗装 エ	上記と同一。	幅、厚さ、その他必要箇所を撮影する。
エ			
	3. 砂利舗装工	上記と同一。	幅、まき出し厚さ、転圧、その他必 要箇所を撮影する。
事			
	4. 道路トンネル	巻厚については1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。 その他掘削タイプの変化する毎に1箇所の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、矢板、 坑口、その他必要箇所を撮影する。
	5. 道路トンネル (NATM)	掘削はタイプの変化する毎に1箇所、ロックボルトは100mに1箇所、コンクリート吹付は50mに1箇所、巻厚については1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	ボルト、コンクリート吹付、坑口、

5 水路トンネル工事 ~ 6 水路工事 [略]

	工 種	撮影基準	撮影箇所
7 排水路工	1. コンクリート法覆 エ アスファルト法覆 エ	上記と同一。	幅、厚さ、法長、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
事・河川工事	2. コンクリートプロック積み水路 鉄筋コンクリート 柵渠	上記と同一。	コンクリートブロック積み水路については基礎関係、裏込、幅、高さ、その他必要箇所を、鉄筋コンクリート柵渠については、アーム間隔、柵板設置、その他必要箇所を撮影する。
	3. ライニング水路 連節ブロック コンクリートマッ ト	上記と同一。	布設、幅、法長、その他必要箇所を 撮影する。

8 管水路工事 ~ 17 ため池改修工事 [略]

別表第3 品質管理 [略]

別表第4 施工管理記録様式

目 次 [略]

	工 種	撮影基準	撮影箇所
7 河 川 及 び	1.コンクリート法 覆工 アスファルト法 覆工	上記と同一。	幅、厚さ、法長、法勾配、その他 必要箇所を撮影する。
排水路工事	2. コンクリートブロック積み水路鉄筋コンクリート柵渠	上記と同一。	コンクリートブロック積み水路に ついては基礎関係、裏込、幅、高 さ、その他必要箇所を、鉄筋コン クリート柵渠については、アーム 間隔、柵板設置、その他必要箇所 を撮影する。
	3. ライニング水路 連節ブロック コンクリートマット	上記と同一。	布設、幅、法長、その他必要箇所を撮影する。

8 管水路工事 ~ 17 ため池改修工事 [略]

別表第3 品質管理 [略]

別表第4 施工管理記録様式

目 次 [略]

(出来形管理関係)	(出来形管理関係)
株式 1	株式 1
	<u>平成 年度 工事</u>
<u> </u>	出来形管理図表
品 質 管 理 図 <u>表</u>	品 質 管 理 図 表
	種 目
種目	1里 日
	<u></u>
	注) 1. 出来形(品質)管理図表は、本表紙様式により、工種毎に綴るものとする。ただし、小規模工事については、監督職員の承認を得て、全工種分を一括綴りとすることができ
注) 1. 出来形(品質)管理図表は、本表紙様式により、工種毎に綴るものとする。ただし、小規模工事については、監督職員の承認を得て、全工種分を一括綴りとすることができ	ā.
る 。	2. 種目は、基準高、厚さ、幅等と記入する。
2. 種目は、基準高、厚さ、幅等と記入する。	こ。ほこは、金子同く存て、「日々には人」とい
	i

工 事	名			<u>受注会补</u>	<u> </u>		<u> </u>		
工 種	名				者				
						管理基準値 A ├	規格値 B + -	測 定 単 位	
番号	月日	測点	設 計 値 C	実測値 D	設計値 との差 E=D-C	管理基準 値との差 F= A - E		設計値との差	
						1 1/1 121			
							_		
							_		
							_		
							_		
							_		
							_		
記入	 、事項			1	1	<u>l</u>		測定箇所図	·····
1					ム(厚さ(T))、相	喬台工(中			
	心線の))等と記入す		」の欄は当該浿	占妥旦七			

様式	2 - 1
----	-------

出来形管理図表

工事名 受注会社名

工種名 <u>測定者</u>

測 定 単 位 管理基準値 規格値

	_		設計値	計値 実測値	設計値 管理基準		設計値との差
番号	月日	測点	C	D	との差	値との差	
			J		E=D-C	F= A - E	
							-
		1					
							.
		1					
<u> </u>		-					
		1					
記入	事項						測定箇所図
1					、(厚さ(T))、棉	喬台工(中	
	心線のズレ(e))等と記入する。						
2	2. 「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を						
_	記入する。						
3	3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。						
4	. 設計値	との差	の単位を定め、	目盛りに数値	を記入する。		
5					の値を、E≦0 <i>0</i>		
			る。また、 A 値 その符号側はF				

様式 2-2 様式 2-2 度数表 工 事 名 工 事 名 受注会社名 受注会社名 工 種 名 測定者 測定者 年 月 日現在 月 日現在 年 度 度 数 (一) 設計値との差 →(+) (一) ← 設計値との差 ─ → (+) 注)出来形管理で20点以上の場合使用する。 注)出来形管理で20点以上の場合使用する。 様式 3-1 様式 3-1 測定結果一覧表 測定結果一覧表 工 事 名 受注会社名 工事名 受注会社名 工種名 <u>測 定</u>者 工種名 測定者 管理基準値 管理基準値 管理基準値 規格値 測 定 単 位 規格値 測定 規格値 測定 管理基準値 規格値 測 定 単 位 単位 単位 管理基準 管理基準 管理基準 管理基準 実 測 値 実 測 値 設 計 値 実 測 値 設計値 実 測 値 設計値 設 計 値 番号 月日 番号 月日 番号 月日 測点 との差 値との差 番号 月日 測点 との差 値との差 測点 との差 値との差 測占 との差 値との差 F=|A|-|E| E=D-CF=|A|-|E| E=D-CF=|A|-|E F=|A|-|E| 1.「工種名」は、掘削(基準高(V))、フルーム(厚さ(T))、橋台工(中心線のズレ(e))等と記入する。 1.「工種名」は、掘削(基準高(V))、フルーム(厚さ(T))、橋台工(中心線のズレ(e))等と記入する。 2.「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。 2.「番号」の欄は、施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。 3.「月日」の欄は測定年月日を記入する。 3.「月日」の欄は測定年月日を記入する。 4. Fを算出するIAI値は、E>0の場合は十側の値を、E≦0の場合は一側の値を用いる。また、IAI値が十側か一側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はF=「一」とす 4. Fを算出する|A|値は、E>0の場合は+側の値を、E≦0の場合は-側の値を用いる。また、|A|値が+側かー側の片方、若しくは両方にない場合は、その符号側はF=「-」とす

様式:	3-2
-----	-----

鋼管溶接測定結果一覧表

_工 事 名	受注会社名	

测点位置		実 湯	則 値		管理基準値	摘要
測定位置	Х	Υ	X'	Y'	官垤峚华旭	摘 安
	<u> </u>					

t.	美=	+	3	_	2
T	双ユ	٠.	J	_	_

鋼管溶接測定結果一覧表

丁 惠 名			
<u> </u>	上 事 名	受	注会社名

测宁位署	実 測 値 X Y X'				管理基準値	摘要			
別足位直	Х	Υ	X'	自垤苤华旭	100 女				

様式 3-3						様式 3-3						
	<u>鋼管溶接。</u>	、塗覆装点検表					<u>鋼管溶接、</u>	塗覆装点検表				
工事名						工事名						
		<u>測 定 者</u>						<u>測</u> 定者				ED
測定位置	工 種	項目	良良	定否	摘 要	測定位置	工種	項目	良良	定否	摘 要	要

様式 3-4

管水路ジョイント間隔測定結果一覧表

工事名 受注会社名 測 定 者

													<u></u> 測 水	1					
管種名	測定年月日	測定位置		測定	值(接合	合時)		・ 管理基準値	判定	備考	測定年月日	3	則定値(埋戻後	:)	(参考)	判定	備	考
(呼び径)	规定千万口	(管番号)	а	b	С	d	平均	日任至午旧	刊足	川 行	例	а	b	С	d	規格値	刊足	VĦ	~
											1					1			

- 注) 1. 管理基準値は接合時の値であり、4箇所の平均とする。
- 2. (参考)規格値は埋戻し後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。
- 3. 測定は、呼び径700mm以下の場合は管の外から測定しても良い。 また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。
- 4. 管の外から測定する場合の測定位置は、a'、b'、c'、d'の位置とする。
- 5. 強化プラスチック複合管のD形の場合は、受口側と挿口側を各々測定すること。

 測定値

 測定位置
 a b c d 平均

 NO.〇〇受(受口側データ記載)
 ″ 挿 (挿口側データ記載)

標線による計測 ジョイント間隔=受け口長l2-(標線長h-測定長x1) 標線によらない計測 ジョイント間隔=受け口長12-(管有効長L-測定長x2) 様式 3-4

管水路ジョイント間隔測定結果一覧表

工事名 受注会社名

													測 正	有					削
管種名 (呼び径)	測定年月日	測定位置		測定	値(接1	今時)		管理基準値	判定	備考	測定年月日	3	則定値(埋戻後	:)	(参考) 規格値	判定	備	考
(呼び径)	测定平月口	(管番号)	а	b	С	d	平均	官垤莶华旭	土	佣石	测定平月口	а	b	С	d	規格値	刊化	1)用	75

- 注) 1. 管理基準値は接合時の値であり、4箇所の平均とする。
 - 2. (参考)規格値は埋戻し後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。
- 3. 測定は、呼び径700mm以下の場合は管の外から測定しても良い。 また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。 4. 管の外から測定する場合の測定位置は、a'、b'、c'、d'の位置とする。
- 5. 強化プラスチック複合管のD形の場合は、受口側と挿口側を各々測定すること。

 測定値

 測定位置
 a
 b
 c
 d
 平均
 NO.〇〇受(受口側データ記載) " 挿(挿口側データ記載)

(参考)

標線による計測 ジョイント間隔=受けロ長I2ー(標線長hー測定長x1) 標線によらない計測 ジョイント間隔=受けロ長I2-(管有効長L-測定長x2)



様式 3-5

埋設とう性管たわみ量管理表

エ 事 名							<u>受注</u>	<u>会社名</u>					
管種(長さ)							測	定者					
測定		管据	付時			管頂埋	見し時			埋戻し	完了時		D+t(mm)
位置	D	たわ	Z.	たわ	<u> </u>	たわ	Ž.	たわ	6	たわ	ź	たわ	(内径)(管厚)

測定	管据付時 』 定 <mark>────────────────</mark>				管頂埋戻し時					埋戻し	完了時		D+t(mm)		
測 定 位 置 (管番号)	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	(内径)(管厚)		
	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%			

たわみ率の計算

$$\frac{\Delta X}{2R} \times 100(\%)$$

 $\Delta X=[2R-(D \upsilon+t)]$ 又は[2R-(Dh+t)]

2R: 管厚中心直径

t:管厚

- 注)1. マーキング位置における測定値を記入する。
 - 2. 測定については「土木工事施工管理基準」別表第1 直接測定による出来形管理 管水路工事 管水路(埋設とう性管)の測定基準による。
 - 3. 矢板引抜き時の測定は、「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。

様式 3-5

埋設とう性管たわみ量管理表

工事名							<u>受注</u>	会社名						_
_管種(長さ)							測	定 者					E[.	<u> </u>
測定		管据	付時			管頂埋	!戻し時			埋戻し	完了時		D+t(mm)	1
位置(管番号)	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	(内径)(管厚)	

測定		6 1/a	IJ PT			百块社	大し町			生灰し)L] PT		D+t(mm)
測 定 位 置 (管番号)	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	Dυ	たわ み率	Dh	たわ み率	(内径)(管厚)
	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	mm	%	

たわみ率の計算

$$\frac{\Delta X}{2R} \times 100(\%)$$

 $\Delta X=[2R-(D \upsilon +t)]$ 又は[2R-(Dh+t)]

2R: 管厚中心直径

t: 管厚

- 注) 1. マーキング位置における測定値を記入する。
 - 2. 測定については「土木工事施工管理基準」別表第1 直接測定による出来形管理 管水路工事 管水路(埋設とう性管)の測定基準による。
 - 3. 矢板引抜き時の測定は、「管頂埋戻し時」の欄に測定値を記入する。

## - F	2 6	
稜式	ა — ხ	

鉄 筋 組 立 検 査 結 果 一 覧 表

<u>工事</u> 工種	<u>名:</u> 名:		受注会社名 :		
工程	10 .				
		径(mm)及び本数(本)	中心間隔(mm)	かぶり(mm)	組立状況(継手長、曲げ状況、結束等

		径(mm)及(び本数(本)		中心間	隔 (mm)		7	かぶり(mm	1)	組立状況(継手長、	曲げ状況、結束等)		
番	引定年月日 ■	設計値	判定	設計値	検査値	設計値 との差	判定	設計値	検査値	判定	判	定	備	考

測定箇所 : (設計上の位置及び名称)

測 定 者

記入事項

- かぶりの許容誤差は±φかつ最小かぶり以上とする。
- 2. 鉄筋間隔の許容誤差は±φとする。
- 3. 判定欄は合格、不合格を記入する。

様式 3-6

鉄筋組立検査結果一覧表

工種名:

		径(mm)及7	ゾ本数(本)		中心間	隔 (mm)		7.	かぶり(mm))	組立状況(継手長、由	曲げ状況、結束等)		
番号	測定年月日	設計値	判定	設計値	検査値	設計値 との差	判定	設計値	検査値	判定	判	定	備	考

測定箇所 : (設計上の位置及び名称)

- かぶりの許容誤差は±øかつ最小かぶり以上とする。
- 2. 鉄筋間隔の許容誤差は±φとする。
- 3. 判定欄は合格、不合格を記入する。

測 定 者

ro

. 事 名:	:				<u>受注</u> 会社名	· :					工事名:					<u>受注会</u> 社名	:			
. 種名:					<u>測 定 者</u>						工種名:					<u>測 定 者</u>				
抗打込み 月 日	杭番号	杭規格	測 定 時 杭深度(m)	ハンマー 落下高(cm)	打込回数	リバウンド (cm)	平均沈下量 (cm)	支持力(kN)	摘要		杭打込み 月 日	杭番号	杭規格	測 定 時 杭深度(m)	ハンマー 落下高(cm)	打込回数	リバウンド (cm)	平均沈下量 (cm)	支持力(kN)	摘要
配置図					<u>適用公式</u>	3名:					抗配置図						名:			
					<u>設計支持</u>	<u>;力:</u>										<u>設計支持</u>	·力:			

	_		- <i>h</i>	T			_								
	<u>X</u>	-	R 管	<u>埋</u>	<u></u>	_	<u>タ</u>	<u>ン</u>		<u> </u>					
エ	事	名						受注	会社名						
	名(名								定者						
項目名	呂(品質	特性)			=n =1				成者	<u> </u>		:#-			
					設 計基準値		規 根 限			定 位	日標				
					Α	+	.限	下 [艮		料間		隔		
						'					作業機		_		
月日	測点	組番		測	定値	[計	平均値	範囲				
		の号	X ₁		X ₂		X ₃		ΣΧ	Х	R				
		2										+			
		3										+		x	R
		4											平均	X	R
		5											累計		
小計													小 計		
		6													
		7 8													
		9										\dagger	平 均	X	R
		10											累計		
小計													小 計		
		11		_											
		12													
		14										1			
		15													
		16													
		17													
		18										+	平均	TX	1-
		19 20										+	累計	Х	R
小計												\dagger	小計		
(注)		•		•										•	•
	管理限界よる。	幕線の引	直しは、5-	5-10-	20-20方式	けに	記								
2.	21組から		では別のデ			す	事								
—			ごとに同様と			-+ F-A '	<u> </u>	16 - /	ᅀᆚᄝᆖᅩᄠ	4) 生 ホ ロ E	·⊬±⊮⊬ ≁ ≕¬		<u> </u>	T .	_
記	1. 「項 入す		はコンクリート	(セメ)	ノトの物理	試験.	/、疸	合工(古水重試驗	東)寺の品質	特性を記	<u> </u>	d ₂	A ₂	Η.
入	2. 「月	日」の榻	は測定年月									3	1.13	1.88	2
要 領			引はSTA又に									4	2.06	0.73	2
174	4. 測.	点」の楯	間は当該測点	は番号	を記人する	0						5	2.33	0.58	1

(品質管理関係)	
様式 5-1	

_ X <u>- R 管 理 デ ー タ シ ー ト</u>

	名 (名 (品質:								主会者								
<u> </u>	(品質)	持性)						測		者						印	
					-			<u>作</u>	成	者					T	印	
					設基準	計値		格値			定 位			準	_		
					本 A	_	上限		限	-	127		資大		さ		
						+		-				- 1	料間		隔		
				*01	_	/ +			1	=1		_	作業機	械	名		
月日	測点	組番 の号		<u>測</u>	定	値				計 _	平均値		範囲				
		1	X ₁	+	X ₂	_	Х3			ΣΧ	Х		R	\dashv			
		2		+										\dashv			
}		3		+		\dashv								+		Х	R
		4		+		-								+	平均	<u> </u>	R R
		5													累計		11
小計															小 計		
		6															
		7															
		8															1
_		9		-		_								_	平均	X	R
		10		-										-	累計		
小計		4.4													小 計		
		11		+										\dashv			
		13		-		+								\dashv			
		14		1										\dashv			
		15												7			
		16															
		17															
		18														_	
		19													平均	X	– R
		20		-		\perp			<u> </u>						累計		
小計								1							小 計		
2. 2	よる。 21組から	40組ま	直しは、5-5- では別のデー ごとに同様とす	-タシ													
	1. 「項	目名」は	コンクリート(トの物	理試	験)、道	路工	(含水	量試懸	ー (乗) 等の品	占質物	寺性を記	n	d ₂	A ₂	D ₄
記	入す 2 「FI		は測定年月る	たきコ 7	しオス									2	1.13	1.88	3.2
ハL			III測定年月で IはSTA又は「			L Z								3	1.69	1.02	2.5

様式	5-2
T米 ユし	\cup

X - R 管 理 デ ー タ シ ー ト

	事	名					受注	会社名						
. 種	名(名	i 称)					測	定者						
目名	名(品質	特性)					作	成者						
					設計			測	定	日 標				
					基準値 A	限 上限	<u>乔</u> 下队		位	資大	き			
						+	-			料間		隔		
		l I		NO 4	<u> </u>	1		=1		作業機	⊌ 械 ■	名		
日	測点	組番		測	定値			計	平均値	範囲				
_		07-5	X ₁		X ₂	X ₃		ΣΧ	Х	R	_			
											_			
											-			
							\dashv			+	\dashv			
				+						+	\dashv			
							\dashv			1	\dashv			
							+				\dashv			
										1	_			
							_			1	_			
				_			_			1	\perp			1
										1	_	平均	Х	R
=1				+			+				\dashv	累計		-
計 i												小 計		
3														
È)	_					0-20方式								
	2.	21組から	40組まで	は別の)データシ-	ートに記入	する。	以下、20組	ごとに同村	様とする。				
			ンクリート	(セ火)	小の物理!	試験)、道路	路工(含水量試驗)等の品質	質特性を記	n	d ₂	A ₂	D ₄
!	入すって日		t测宁左 5	1 ★.= □ 7	しナス						2	1.13	1.88	3.27
		日」の欄に			くする。 番号である						3	1.69	1.02	2.57
Ę –					番号である を記入する						4	2.06	0.73	2.28
1	4. 「测	ポリリが刺し	- 1 1 0 例 5	(田石	で記入りる	0					5	2.33	0.58	2.11

<u>X - R 管 理 デ ー タ シ ー ト</u>

	事 2 / 2							受注:							- CO	
	名 (名								主 者						<u> </u>	
項目:	名(品質	特性)						作月							印	
					設基 準			格値 界	測	定位	_	標		_		
					- A		上限	下限	_	12		大		_		
							+	-			_	間		隔		
		Ι.		10 1	_	<i>i</i> +		<u> </u>	=1		_	業機	械	名		
月日	測点	組番の号		測	定	値			計	平均値		範囲				
		075	X ₁		X ₂		X ₃		ΣΧ	X		R	_			
											-		-			
													-			
													-			
													\dashv			
													\dashv			
													-			
													-			
													-			
													-			
													-			
													-			
													-			
													-			
										1			\dashv			
										1	+		+	平均	Х	R
													+	累計	<u>^</u>	117
小計										<u> </u>			\dagger	小計		
特		1	<u> </u>					l l		_1					1	1
記		Art	1 B 44 6 5 1 3					×								
(注)	_		界線の引直							n 1 ·	124.1	- -				
	2.	21組カ	いら40組まで	ま別 σ)テーク	タシー	トに記入	ずる。」	以下、20約	出ごとに同	様とす	る。				
			はコンクリート	セ火	小の 物	勿理証	(験)、道	路工(含	水量試	験)等の品	質特性	生を記	n	d ₂	A ₂	D ₄
記	入すっ「日		間は測定年月	太記 7	オス								2	1.13	1.88	3.27
入 要			Nは別定年月 間はSTA又は										3	1.69	1.02	2.57
領			®はSTA又は										4	2.06	0.73	2.28
	4. 「測	点」の個	ミロ は 日 は 川 兄	田 写 ?	二記入	y る。							5	2.33	0.58	2.11

様式 5-3

_ X - R 管 理 図

設	計	基	準	値		I		事		名	事	業	Ē	f	名			
名				称		日	標		準	量	₩□		В		自	年	月	П
品	質		特	性		規格	各値	限界	上限値	į	捌		III	"	至	年	月	日
測	定		単	位		死 11		股外	下限値	i	受	注	会	社	名			
測	定		方	法		 -		料	大きさ		現	場	代	理	人			
作	業	機	械	名	-	洒		科	間隔		測		定		者			

- ا				-											 				 -						 	 	 	111111	 	 		
						Ш				▦	ш	ш							ш	₩	₩							₩			ш	
						Ш													ш									₩				
		_			ш	ш	ш			▥	ш	ш		₩				ш	ш	ш	ш				ш			₩	₩		ш	
Ш		Х				Ш				▦	ш																					
						₩					ш	ш	₩						ш	ш	###							₩			ш	
										▦																		₩				
										▦																		Ⅲ				
					₩	₩				▥	₩			₩			₩		#		***		₩					₩				
										▥																						
					₩	Ш				▦	₩	₩							ш													
		R			₩	₩	₩			₩	₩	₩	₩	₩					ш	₩	₩				₩			₩	₩			
		11				₩				₩	ш			₩														₩				
						₩	₩			₩	₩	₩	₩	₩				₩			₩			₩				₩	₩			
						₩	₩			₩	₩	₩	₩	₩				₩	ш	₩	₩			₩				₩	₩			
۱ŀ					ш	Ш	Ш	шш	ш	ш	ш	ш	шш			шш	ш	ш	 ш	Ш	ш	шш	шш	ш.	ш			ш	ш			
糸	£	の	番	号																												
ľ																																
I	2			事																												
l l'	_			,																												

- 注) 1.管理図は、別紙X-R管理データシートから記入する。 2.記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

様式 5-3

_ X - R 管 理 図

設	計	基	準	値	エ		事		名	事	業	所	ŕ	名			
名				称	日	標		ዻ	集 量	#8		BE		自	年	月	日
品	質		特	性	規権	3 値	限	界	上限値	州		間		至	年	月	日
測	定		単	位	况 1		胺	扒	下限値	受	注	会	社	名			
測	定		方	法	 -			W-1	大きさ	現	場	代	理	人			印
作	業	機	械	名	武			*	間隔	測		定		者			印

組 の 番 号	
R	
x	

- 注) 1.管理図は、別紙X-R管理データシートから記入する。 2.記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

<u>X-Rs-Rm</u> 管 理 デ ー タ シ ー ト

品質	• 特	1±				争	耒	PJT	1						31-3		至			牛	Я	Н
測定	単	位				日	標	準	<u> </u>	Ē				受	注	会	社	名				
1515 F	: 限	値					Τ.	大 ;	*	ż				頊	堤	什	理	,				
70.10 L						試	料上			-				_								
下	限	値					Įf	間	ß	鬲				測		定		者				
設計	基準	値				作	業	機	械(ž				作		成		者				
		測	7	Ē	値								an d		i nh	_ X	±E2	_ Rs	=			
月日	試験	~,,		_		計	平	均	値	移	動 範 Rs	囲	測 の	範	囲	^	— – z	110				
•••	番号	а	b	С	d	Σ		Х			Rs			Rm	_	D	_ 4 • Rs	=				
	1																_					
	2															D	₄•Rm	=				
	3																		Χ	Rs	Rm	
	4																均		<u>X</u> =	Rs=	- Rm=	=
	5																計					
	小計																計					
	6																±E2		=			
	7															D	4 • Rs	=		D ₄ • Rm		
	8																均		X =	Rs =		=
	小計																計					
							_										計					
	9																± E2 ·		=			
	10																4 • Rs					
	11															D.	4 • Rm	1 =				
	12																均		X =	Rs=	Rm	=_
	13																計					
	小計																計					
	14															Х	± E2 ·	·Rs	=			
	15															D.	₄• Rs	=				
	16															D	₄•Rm	=				
	17																					
	18				Ш													,			•	
	19																均		X =		-Rm	=
	20																計					
	小計															/]	計					
記事																	n		d_2	D_4	E ₂	
																	2		1.13	3.27	2.66	3
																	3		1.69	2.57	1.77	7

測定 期間

注)	1	担格限果	設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
<i>/</i> 工/	٠.	かれ ゴロ アメント・	,政可卒午但は政可凶首に足のりがに但で心入する。

2	管理限界線の引直し	んは5-3-5-7-10-10-10方式による

(備考) 管理限界計算のための予備データの区間を示す。 -------- 上記の管理限界を運用する区間を示す。

3. 以下、最近20個(平均値 x を1個とする)のデータを用い、次の10個に対する管理限界とする。

様式 6-1

16

17 18

19 20

小計

記事

4 2.06 2.28 1.46

2.33 2.11 1.29

X-Rs-Rm 管 理 デ ー タ シ ー ト

						_																	
名		称				エ		事		名					測		佪				年	月	ŀ
品質	• 特	性				事	業	ŧ F	听	名					期	間	至				年	月	I
測 定	単	位				日	標	<u> </u>	隼	量					受	注	会 社	名					
規格上	: 限	値						大	き	さ					現	場	代 理	人					E
限界下		値				試米	4	間		隔					測		 定	者					E
 設 計 a		値				作		機						-	作		成	者					Ē
																			<u> </u>				
月日	試験	測	5	ŧ	値	計	平	均	値	移	動 範 Rs	囲	測の	定	値	内田	X±E ₂	·R	- s =				
ЯП	番号	а	b	С	d	Σ		X			Rs		0)	₽I Ri	m E	土	D ₄ • Rs	; =					
	1																D₄•Rn	n =					
	2																D4 1(1)	-					
	3																		Χ	F	₹s	R	m
	4																平均		X =	R	ls=	Rr	n=
	5																累計						
	小計																小計						
	6																X±E ₂	• Rs	s =				
	7																X±E₂ D₄•Rs	; =		D	4 • Rm	=	
	8																平均		_X =	R	s =	Rr	n=
	小計		•														累計						
																	小計						
	9																X±E ₂	·R	- S =	•			
	10																 X±E₂ D₄•Rs	; =					
	11																D ₄ · Rn	n =					
	12																平均		X =	R	ls=	Rn	1 =
	13																累計	T	-				
	小計				• •					T							小計	T					
	14																X±E ₂	·R	s =			1	
	15																D ₄ • Rs	:=					
		+	+	-	1		-			+			1										

D₄ • Rm =

累計

小計

n

2

3

4

平均 X = Rs = Rm =

3.27

2.57

2.28

2.11

1.13

1.69

2.06

E₂

2.66

1.77

1.46

1.29

注) 1. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。

2. 管理限界線の引直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。

(備考) 管理限界計算のための予備データの区間を示す。 ------ 上記の管理限界を運用する区間を示す。

3. 以下、最近20個(平均値 x を1個とする)のデータを用い、次の10個に対する管理限界とする。

様式6-2 [略]	様式6-2 [略]
様式 7	様式 7
<u>X - Rs - Rm 管理図</u>	<u>X - Rs - Rm 管理図</u>
設計基準値 工事名 事業所名 名称 日標準量	設計基準値 工事名 事業所名 名称 日標準量 期間
品質特性 上限値 測定単位 規格値限界 下限値 受注会社名	品質特性 規格値限界 上限値 プライン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファ
測 定 方 法 打 まで ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり	測 定 方 法 大きさ 現 場 代 理 人 作業機械名 The property of the property o
X Rs	x
x	x
Rs	Rs
Rm	Rm Rm
組の番号	組の番号
記	記 事 注) 1. 管理図は、別紙X-Rs-Rm管理データシートから記入する。 2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。
2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。	
参考資料 [略]	参考資料 [略]